

第 1929 回例会報告

令和 8 年 10 月 8 日(木)晴

◇会長告知◇

会長 宮澤孝良



皆さん、こんにちは。本日は、

米山記念奨学生ウォン、イン レンさんをお迎えし、「日本人と私」という大変興味深いテーマで卓話をしていただきます。ウォン、イン レンさんは、マレーシア国籍で信州大学理学部に在籍されており、現在3年生です。ウォン、イン

レンさん、本日はよろしくお願いいたします。私たちは普段、「日本人とはこういうものだ」と、あまり意識することなく生活しております。しかし、外国から日本を見つめる方の目を通して見ますと、私たちが当たり前だと思っている習慣や価値観の中に、実は日本人らしさが数多く存在していることに気づかされます。

例えば、相手を思いやる心、礼儀を重んじる姿勢、約束や時間を守ること、周囲との調和を大切にすること。こうしたものは、私たちが長い年月の中で育んできた、日本社会の大切な文化の一つであると思います。

一方で、異なる文化や価値観を持つ方と交流することによって、私たちは自分たちの文化を改めて見つめ直すことができます。

「日本人と私」という今日のテーマは、単に日本人と外国人の違いを考えるということではなく、互いを理解することによって、自分自身を知る機会でもあるのではないのでしょうか。

ロータリーには、国際理解と親善を推進し、世界の平和と理解に貢献するという大切な使命があります。米山記念奨学事業も、外国から日本へ学びに来られた若者を支援するだけでなく、奨学生とロータリアンとの交流を通じて、国と国、人と人との心のつながりを育てていく事業であります。

今日ここに ウォン、イン レンさんをお迎えし、お話を伺えることは、私たちに与りまして大変貴重な機会です。ウォン、イン レンさんが日本で学び、生活する中で感じたこと、そして日本人との交流を通して感じたことを、ぜひ率直な言葉でお聞かせいただきたいと思います。

私たちもウォン、イン レンさんのお話に耳を傾けながら、改めて「日本人とは何か」「人と人が理解し合うとはどういうことか」を考える時間になりたいと思います。そして、今日のこの出会いが、ウォン、イン レンさんにとっても、私

ちにとっても、これから先につながる心の財産となることを願っております。

それではウォン、イン レンさん、本日は貴重な卓話をどうぞよろしくお願いいたします。



◇結婚記念祝◇



先週の高山会員の話にもありましたが、これからも寛容な心で過ごしたいと思います。(結婚50年、高林一紀会員)

最近お酒の量が減りました。ひ孫の成長を楽しみに過ごしたいと思います(結婚60年、林洋三会員)

これからも楽しく二人でやっていこうと思います(結婚33年、小口直久会員)

去年、「今日もお疲れ様」と言ったつもりですが記憶がないので、今年こそ言おうと思います(寺島隆史会員)



◇幹事報告◇

幹事 北原数也

【報告事項】

先週地区から連絡があり、当クラブが、優秀クラブ賞を受賞することとなり、17日、地区大会

一日目の本会議で表彰される予定です。宮澤会長が登壇して、頂いてきます。【受領文書】

バギオ訪問交流の旅のご案内、信州豊かな環境づくり県民議会会報「たまき」

【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	30人	6人	16,000円
出席対象	30人	前回累計	219,000円
出席者数	19人	累計	235,000円
出席率	63.3%	目標額	70万円
前回修正出席率	%	達成率	33.6%



今日は、米山奨学生のウォン、インレン、カウンセラー田中勇司さん代理の菅谷篤さんに松本からお越しいただき、ありがとうございます。ウォンさんは、地学を先行されているということで、地球の未来のために学問に専念されることを期待しております。今日は宜しくお願い致します。

宮澤孝良

米山奨学生 ウォン、インレンさん、カウンセラーの田中勇司さん、ようこそ諏訪湖ロータリークラブにお越しくださいました。お話楽しみにしています。宜しくお願い致します。

宮坂英貴

今日の卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。

成山秀幸

今日は、松本西南ロータリークラブ田中勇司さんの代わりに菅谷篤さんにおこしいただきました。米山奨学生ウォン、インレンにお越しいただきました。本日の卓話を楽しみにしております。

小口直久

◇委員会報告◇



10月23日に諏訪ロータリークラブ主催2クラブ合同例会があります。会場はぬのはん、18:00受付、18:30点鐘となります。ご都合をつけていただき、ご出席をお願い致します。

◇例会内容◇



国際奉仕委員会担当
米山奨学生
ウォン、インレンさん
「日本と私」



自己紹介

名前: WONG YING REN
(呼び名: DYLAN)
出身: マレーシア
世話クラブ: 西南ロータリー
所属: 信州大学・理学部・地球学コース
趣味: 登山、音楽、ギター、ピアノ

地球生命科学は、名前の通り、地球に存在するありとあらゆる生命を研究しています。私たち人間を含めて犬や猫などのマクロスケールの生物から、細菌やバクテリアなど、様々な生物が存在していますが、それを長いスケールで考えると、地球の年齢が約46億年だとされていますが、その間に存在絶滅した生物の進化や多様性などを研究している学問です。

次に固体地球科学は、私たちが立っている地球の表面よりも下の構造、変動、歴史などを扱う学問です。地球の内部で起きている変化を、岩石から読み取って解明していきます。社会における資源探査と関係しており、また断層などの構造を把握する事によって、地盤や地震に関する

事など、幅広く研究しています。そして私は、人間社会に最も貢献度が高いと思っています。この2つの分野は、私が信州大学で取り上げている学問です。



地球を探索するには、とにかく野外に出かけなければなりません。信州大学の地球学における一番の強みは、野外実習を多く取り入れている事です。急襲な山や沢、焼岳の山頂などに調査に行きましたが、素晴らしいのは、これら全て長野県内にあり、それらを生かして研究できる信州大学は最高のフィールドです。

そして、皆様からの奨学金の使い道について、ほとんど実習のために使われています。大学は野外実習を多く取り入れている一方、学生全員の費用を全て、大学が負担するのは難しいです。最近、佐渡・能登半島に実習に行きましたが、交通費、宿泊費、食費など、学生にとっては大変な負担ですが、皆様からの奨学金を使わせて頂いています。自分の興味のある事を学び、実際に現地に行つて、見て触って経験を積む事が出来るのも、皆様からの支援があってこそなのです。

カウンセラーの田中勇司さんが体調不良により、急遽お嬢さんの旦那さん、菅谷篤さんが同行して下さいました



10月4日
諏訪グループ
エンドポリオチャ
リティゴルフ大会
当クラブから9名の
会員が参加しました